

シンガポール・エアショー2020 レポート

シンガポール・エアショー2020 への参加

隔年で開催されているシンガポール・エアショーが2月11日から6日間、シンガポールのチャンギ空港と隣接するチャンギ・エキシビション・センターで開催されました。エアショーの開催直前、新型コロナウイルスがシンガポールでも猛威を振るいだし、開催の行方に注目が集まりましたが予定通りの期間で開催されることになりました。このエアショーには民間機からビジネスジェット、ヘリコプターや軍用機までが展示され、航空機産業全般を網羅した展示会として、世界の大手機体メーカーやエンジンメーカー、大手部品メーカーなど約930社が展示ブースを構えました。今回そこに石川県産業創出支援機構（ISICO）が県内の航空機関連部品メーカー4社を取りまとめて「AC ISHIKAWA」ブースを出展しましたので、県事務所もサポートさせていただきました。



ISICO 運営 AC ISHIKAWA ブース

開催初日、タイやベトナムなど周辺国の軍事関係者が大勢来場し、会場内に展示されたドローンやミサイルなどを視察していました。会場内が軍服だらけで、各国の巨額の防衛費で取引される当該市場の規模の大きさを身をもって感じる事ができました。聞けば各国軍事関係者にはシンガポール軍のスタッフが案内役として張り付き、会場内をアテンドするそうです。会場には最新兵器や最新技術（ソフトウェア等）が展示されているため、シンガポール軍のお世話係は各国軍をアテンドしながら、その軍が何を欲しがっているのか調査し、

軍事力を確認しているそうです。

エアショーは11日から14日がトレードデー（ビジネス）、15日及び16日がパブリックデー（一般）となっています。気になるトレードデーの状況は最終日14日、主催者から発表された数値によると来場者数が約3万人（約110ヶ国から）だったそうで、2年前に開催された時は5万4千人と比較すると、コロナウイルスにより極端に来場者数が減少してしまいました。出展者したインドの事業者のからは、高額な出展料と得られる成果がマッチしない、来年は出展しないだろうという辛口のコメントもありました。当初の約1,000社から出展申し込みがあったようですが、直前になって70社ほどがキャンセルしたとのこと。中国パビリオンは全キャンセル、米国パビリオンもキャンセルが相次ぎ、会場内の至る所にブースはあるものの人がいないところが散見されました。



キャンセルされた大規模ブース

AC ISHIKAWA ブースは会期中フル出展しましたが、県内事業者からはこれまでにないほど商談件数が少なく、会場全体が活気のない状態だったとのコメントがありました。展示会場は寂しい状況でしたが、出展した県内企業の中には航空機関連の仕事が増えて繁忙であったり、世界的大手エンジンメーカーと展示会にて直接商談する姿を見たりと、航空機市場に何とか入り込もうとする県内企業の姿を見てとても嬉しく感じました。

航空機産業に参入するには巨額の設備投資や認証取得など初期投資にかなりの費用が必要となります。参入障壁は決して低くはありませんし、それで成功するとも限りません。今

回参加した企業の中には、社長以下従業員 5 名を連れてエアショーに参加した会社もあります。社長曰く、チーム一丸となり、熱意をもって航空機分野に取り組んで欲しいと話していました。取引先にもこうした熱意は確実に伝わるといいますし、成長分野といわれる航空機産業に何とか食い込んでいって欲しいと感じています。今回のエアショーは、新型コロナウイルスの影響によりどれほどの成果が見込まれるのかは未知数ですが、そんな中でも来星いただきました熱意ある県内事業者の皆様の今後益々のご活躍を心より願っています。



三菱重工スペースジェットの内装展示

新型コロナウイルスの影響

シンガポールでも新型コロナウイルスの感染が拡大しています。シンガポール政府は2月7日に警戒レベルを4段階中上から2番目のオレンジに引き上げました。シンガポールにある全オフィスの入口では検温が実施されるようになり、一部企業は感染拡大を防ぐため、時差出勤を実施するところ、在宅勤務に切り替えるところが出てきています。恒常的なマスク不足に加えて物資不足になるという噂が流れ、一時ティッシュやオムツが国内からなくなりました（笑）。この噂を払拭するべくリーシェンロン首相が声明を出すなど、この騒ぎは既に沈静化しましたが、ウイルスパニックはまだしばらく続きそうな状況です。

当地で開催される展示会、例えばFHA（食品見本市）やNATAS（観光博）などは開催延期とされ、商工会のセミナーなどもキャンセルとなりました。シンガポールでは感染拡大を抑えるため、人が集まる機会を減らすように取り組んでおり、毎日マリナーベイサンズで実施さ

れている光と水のショー「Spectra」も警戒レベル引き上げの翌日から当分の間休止状態です。繁華街であるオチャードストリートやチャンギ空港なども感染危険エリアに指定され、観光客も少なく閑散としています。しばらくはこのような状況が続くと想定されますので、シンガポールにお越しになる際には事前にHP等ご確認の上ご来星されることをおすすめします。



トイレトペーパーを大量購入

その他、ご質問等ありましたらお気軽にご連絡いただけましたら幸いです。